



# 設定

IP 設定、ホスト設定、およびネットワーク タイム プロトコル (NTP) 設定の表示と設定をするには、設定オプションを使用します。

## IP 設定

[IP 設定] オプションを使用すると、イーサネット接続の IP とポートの設定を表示および変更でき、後続ノードではパブリッシャの IP アドレスを設定できます。

### イーサネットの設定

[IP 設定] ウィンドウでは、Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) がアクティブであるかどうかを示されます。また、ネットワーク ゲートウェイの IP アドレスのほかに、関連するイーサネットの IP アドレスも表示されます。

すべてのイーサネット設定は Eth0 のみに適用されます。Eth1 に対する設定は一切できません。Eth0 の最大伝送ユニット (MTU) は、デフォルトで 1500 に設定されています。

IP 設定を表示または変更するには、次の手順を実行します。

#### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified Communications オペレーティングシステムの管理] ウィンドウで、[設定] > [IP] > [イーサネット] を選択します。

[イーサネットの設定 (Ethernet Settings)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** イーサネットの設定を変更するには、該当するフィールドに新しい値を入力します。[イーサネットの設定 (Ethernet Settings)] ウィンドウの各フィールドの説明については、表 4-1 を参照してください。



(注) DHCP を有効にすると、ポートとゲートウェイの設定は無効になり変更できなくなります。

**ステップ3** 変更内容を保存するには、[保存] をクリックします。

**表 4-1** イーサネットの設定のフィールドと説明

フィールド	説明
DHCP	DHCP が有効か無効かを示します。
ポート設定 (Port Settings) IP アドレス (IP Address)	システムの IP アドレスを表示します。
マスク (Mask)	IP サブネットマスクのアドレスを表示します。
ゲートウェイ (Gateway) IP アドレス (IP Address)	ネットワーク ゲートウェイの IP アドレスを表示します。

## パブリッシャの設定

後続ノードまたはサブスクリバノードでは、最初のノードまたはノードのパブリッシャの IP アドレスを表示または変更できます。

パブリッシャの IP 設定を表示または変更するには、次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ1** [Cisco Unified Communications オペレーティングシステムの管理] ウィンドウで、[設定] > [IP] > [パブリッシャ] を選択します。

[パブリッシャの設定 (Publisher Settings)] ウィンドウが表示されます。



(注) パブリッシャの IP アドレスは、クラスタの後続ノードでのみ表示および変更が可能で、パブリッシャ自体ではできません。

**ステップ2** 新しいパブリッシャ IP アドレスを入力します。

**ステップ3** [保存] をクリックします。

## Cisco Unified CallManager 後続ノードでの IP アドレスの変更

後続ノードがオフラインの場合、最初の Cisco Unified CallManager ノードを変更すると、後続ノードで Cisco Unified CallManager の管理ページにログインできなくなることがあります。このような状況が発生した場合は、次の手順を実行します。

**ステップ1** 次の IP アドレスを使用して、後続ノードからオペレーティング システムの管理に直接ログインします。

`http://server-name/iptplatform`

ここで *server-name* には後続ノードのホスト名または IP アドレスを指定します。

- ステップ 2** 管理者ユーザ名とパスワードを入力し、**[送信]** をクリックします。
- ステップ 3** **[設定]** > **[IP]** > **[パブリッシャ]** を選択します。
- ステップ 4** パブリッシャの新しい IP アドレスを入力し、**[保存]** をクリックします。
- ステップ 5** 後続ノードを再起動します。

## NTP サーバ

外部 NTP サーバが階層 9 以上 (1 ~ 9) であることを確認します。外部 NTP サーバを追加、削除、または変更するには、次の手順を実行します。



(注)

最初のノードまたはパブリッシャでは、NTP サーバの設定のみできます。

### 手順

- ステップ 1** [Cisco Unified Communications オペレーティングシステムの管理] ウィンドウで、**[設定]** > **[NTP サーバ]** を選択します。

[NTP サーバの設定 (NTP Server Settings)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 2** NTP サーバの追加、削除、または変更ができます。

- NTP サーバを削除するには、削除するサーバの前にあるチェックボックスをオンにし、**[削除]** をクリックします。
- NTP サーバを追加するには、**[追加]** をクリックし、ホスト名または IP アドレスを入力し、**[保存]** をクリックします。
- NTP サーバを変更するには、IP アドレスをクリックし、ホスト名または IP アドレスを変更し、**[保存]** をクリックします。



(注)

NTP サーバに対する変更が完了するまでに、最大で 5 分かかることがあります。NTP サーバに何らかの変更を行った場合は、必ずウィンドウをリフレッシュし、正しいステータスを表示するようにしてください。

- ステップ 3** [NTP サーバの設定 (NTP Server Settings)] ウィンドウをリフレッシュして正しいステータスを表示するには、**[設定]** > **[NTP サーバ]** を選択します。



(注)

NTP サーバを削除、変更、または追加したら、クラスタ内の他のすべてのノードを再起動し、変更を有効にする必要があります。

## SMTP 設定

[SMTP 設定] ウィンドウでは、SMTP ホスト名を表示または設定でき、SMTP ホストがアクティブかどうかを示されます。



### ヒント

証明書有効期限モニタなどでシステムからメール通知が送信されるようにする場合は、SMTP ホストを設定する必要があります。

[SMTP 設定] にアクセスするには、次の手順を実行します。

### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified Communications オペレーティングシステムの管理] ウィンドウで、[設定] > [SMTP] を選択します。

[SMTP 設定 (SMTP Settings)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** SMTP のホスト名または IP アドレスを入力または変更します。

**ステップ 3** [保存] をクリックします。

## 時間の設定

時間を手動で設定するには、次の手順を実行します。



### (注)

サーバの時間を手動で設定する前に、設定済みの NTP サーバを削除する必要があります。詳細については、P.4-3 の「NTP サーバ」を参照してください。

### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified Communications オペレーティングシステムの管理] ウィンドウで、[設定] > [時間] を選択します。

**ステップ 2** システムの日時を入力します。

**ステップ 3** [保存] をクリックします。